



第35回

福岡アジア文化賞

# FUKUOKA PRIZE 2025

授賞式

9.16 火

18:30-20:00

福岡市民ホール

トークイベント

9.15 月・祝

13:30-15:30

福岡市美術館

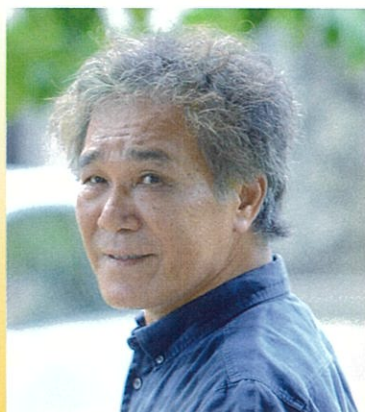
9.17 水

15:00-17:00 / 18:30-20:30

アクロス福岡

沖縄・琉球のアイデンティティを实践

高良 倉吉 (たから くらよし)



民衆の視座から考える東アジア

白 永 瑞 (ペク・ヨンソ)



ベトナムの都市問題を解決する建築

ヴォ・チョン・ギア



入場無料

どなたでも参加いただけます

webサイトよりお申し込みください→

主催：福岡市／(公財)福岡よかトピア国際交流財団



# 授賞式

入場  
無料

申込期間 **7.22(火)～8.26(火)** ※定員に達し次第受付終了

【お問い合わせ先】 **0120-957-730**  
平日 9:00～17:30  
E-mail: fukuokaprize2025@intergroup.co.jp

Webサイトから  
お申し込みください



**9.16(火)18:30-20:00**

福岡市民ホール 日本語  
中ホール(中央区天神)

アジア文化への貢献をたたえる福岡アジア文化賞。  
今年の受賞者が一堂に会する授賞式典を行います。  
輝かしい功績を紹介するとともに、受賞者による受  
賞スピーチをお届けします。司会には、沖縄県出身  
で首里城復興について多くのテレビ番組に出演する  
仲間由紀恵さんが登場します。喜びの瞬間にぜひお  
立ち合いください。



司会: 仲間由紀恵さん

# トークイベント

入場  
無料

申込期間 **7.22(火)～開催日の2日前** ※定員に達し次第受付終了

【お問い合わせ先】 **090-1992-1550**  
平日 10:00～17:00  
E-mail: 35fprize-pl@sametwo.co.jp

Webサイトから  
お申し込みください



## 大賞

高良 倉吉(たから くらよし)  
琉球大学名誉教授

**9.17(水)18:30-20:30**

アクロス福岡 日本語  
円形ホール(中央区天神)

【登壇者】

河野 俊行

(九州大学高等研究院・特別主幹教授、国際イコモス名誉会長)

## 蘇る首里城正殿

### ノートルダム大聖堂との比較の視点から

焼失した首里城正殿の復元は2026年秋  
の完成を目指して進展しています。同じ  
く2019年に火災で甚大な被害を被った  
パリのノートルダム大聖堂は、昨年12月  
には修復工事が完了し、礼拝や見学が可  
能になりました。首里城正殿とノートル  
ダム大聖堂の二つの建築物を比較しなが  
ら文化遺産の保護について語ります。



WEB展覧会「パリ・ノートルダム大聖堂と首里城」HP  
<https://www.notredame-shurijo.com/>

## 学術研究賞

白 永 瑞(ペク・ヨンソ)

延世大学名誉教授

**9.17(水)15:00-17:00**

アクロス福岡 日本語  
円形ホール(中央区天神)

【登壇者】

木宮 正史(東京大学名誉教授)

中島 隆博(東京大学東洋文化研究所 所長)

## 実践的課題としての 東アジア

現在、東アジアは、最も急速な発展を遂げてきた地  
域として世界の注目を浴びています。他方で、米中  
関係、日韓関係など、さまざまな葛藤も存在します。  
単に国家と国家との関係としてではなく、そこに生  
活する市民の視座から、「東アジア」をどのように認識  
し、構想するのか、皆さんと共に考えます。



## 芸術・文化賞

ヴォ・チョン・ギア

VTNアーキテクト主宰

**9.15(月・祝)13:30-15:30**

福岡市美術館 日本語  
ミュージアムホール(中央区大濠公園)

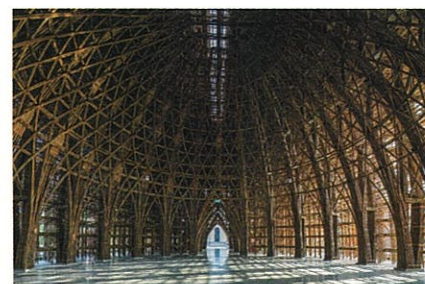
【登壇者】

西村 幸夫(國學院大学観光まちづくり学部長)

岩元 真明(九州大学芸術工学研究院 准教授)

## 躍動する東南アジアの建築シーン

ダイナミックな都市発展が続く東南アジ  
アにおいて、建築シーンをリードするベ  
トナムの若き建築家、ヴォ・チョン・ギア  
氏。竹などのユニークな素材を用いた建  
築空間のおもしろさや可能性、亜熱帯の  
気候や植生に適した建築デザインのあ  
り方に関して、自身の建築作品を中心に  
語ります。



Grand World Phu Quoc Welcome Center  
© Hiroyuki Oki